

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こども発達ルームるんるん		
○保護者評価実施期間	2026年3月1日		～ 2026年3月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	14	(回答者数) 12
○従業者評価実施期間	2026年3月1日		～ 2026年3月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年4月27日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	複数の専門職を配置することで、ことば、コミュニケーション、からだの発達を多面的に支援する体制・環境が整っている	日々のミーティングや毎月のカンファレンスの実施と主要職員参加のためのシフト調整	令和8年度4月より専門職のさらなる配置の強化を実施
2	集団療育も小集団で実施し、マンツーマンに近い体制で手厚く丁寧に関われるような体制を整えている	集団療育と個別療育とを分離させ、できるだけ小さな集団とし、職員を加配してマンツーマンに近い体制での支援	個別療育も専門職が交代で関わるなどの支援体制の強化
3	広い室内空間を活かし、運動を通じた発達支援を行っている	様々な刺激入力が行える運動器具を準備し、気持ちを落ち着かせることやからだの基礎を作りへと繋げている	作業療法士を配置し、より専門性を高めた支援の実施

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がない。	他の園の都合もあり、活動中に交流の機会を設けることが困難なため。	交流の機会に繋げていけるよう、担当者会議などの折に保育園や幼稚園の先生とコミュニケーションを取るようになっていく。
2	家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が少ない。	ご家族さま支援として面談の機会を設けているが周知が不足している。	ご利用の際に行っている送迎時に相談の強化。 ご家族さま支援として面談が開催できることについて、広報誌を用いて発信していく。 令和8年4月より個別療育が開始するため、フィードバックの中でご家庭での関わりや声掛けに対してのアドバイスをやっていく。
3			